

会 議 録

1 附属機関の会議の名称

平成30年度第1回水戸市健康づくり推進協議会

2 開催日時 平成30年7月6日（金） 午後2時00分から午後3時00分まで

3 開催場所

水戸市保健センター2階 予防接種室

4 出席した者の氏名

- (1) 委員 土井幹雄, 原毅, 早船徳子, 大澤賢祐, 小林ゆかり, 澤則子, 角田恒巳, 安齊昭子, 保立武憲, 矢田部秀夫, 田上恵子, 高松孝幸, 田中真己
- (2) 事務局 大曾根明子, 小林かおり, 加瀬林和恵, 龍田晴美, 青野朱実, 谷津洋子, 加藤正恵, 高安克子, 人見裕美, 瀬戸友美, 野口奈津子, 大和敦子
- (3) その他 宮崎真弥

5 議題及び公開・非公開の別

- (1) 水戸市自殺対策計画の策定について
- (2) 水戸市歯科保健計画(第2次)の策定について
- (3) その他

6 非公開の理由 適用なし

7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人

8 会議資料の名称

- ・平成30年度第1回水戸市健康づくり推進協議会次第
- ・水戸市自殺対策計画策定基本方針, スケジュール表
- ・水戸市歯科保健計画(第2次)策定基本方針, スケジュール表
- ・水戸市健康づくり推進協議会委員名簿
- ・地域自殺対策政策パッケージ
- ・自殺対策基本法
- ・自殺総合対策大綱
- ・自殺総合対策大綱(概要)
- ・水戸市健康増進・食育推進計画(第2次)一部抜粋
(P45～47: 基本施策2 こころの健康の維持・増進)

9 発言の内容

議長 ただいま, 会長に任命されました____でございます。どうぞよろしくお願ひします。

____委員 健康づくり協議会の副議長に就任しました____でございます。どうぞよろしくお願ひします。

議 長 それではさっそく議事に入ります。本日の議題は2件でございます。まず1水戸市自殺計画策定基本方針。それでは事務局のほうから説明をお願いします。

事務局 (水戸市自殺対策計画策定基本方針について説明)

議 長 これに対しての御質問・御意見がありましたら、挙手にてお願いします。

___委員 水戸市って1年間に何人位自殺者がいるんですか。

事務局 27年度は44人、28年度につきましては39人、29年度につきましては43人となっております。

___委員 年齢構成ってわかりますか。

事務局 年齢構成は、国のほうから示されています自殺実態プロフィールにおきまして1番多い区分が、高齢女性で無職の方。それから、2番目に多いのが、高齢男性で無職の方、3番目に多いのが40～50代の男性で有職の方となっています。これは水戸市の分析です。

___委員 2ページの基本的姿勢の地域の特性のというところで、パッケージで具体化してくださいという趣旨の内容のところですが、水戸市においては何か特徴がありますか。

事務局 国のほうから分析として出されておきまして、高齢の方、それから生活困窮者の方も多いという分析が出ております。それから勤務経営に関するような自殺の理由を持っている、背景を持っている方の自殺が多いという国から水戸市の特徴としての分析が示されております。このあたりの特徴をより水戸市において分析を進めて施策に反映させていきたいと考えています。

___委員 水戸市は他の市より自殺が少ないんじゃないかと。そのあたりは水戸市の地域特性としてどうでしょうか。

事務局 他の市町村と比べてどうかというのは申し訳ないですが、茨城県の中で水戸市がどのくらいを占めるかという割合ですが、28年度ですと、茨城県では479人自殺でなくなっているところなので、水戸市が39人ですから、8%位というところですよ。

___委員 10万人あたり大体20人ぐらいが平均でそれを13人位まで減らしたいというのが国の方針だと思いますが、水戸市の場合は10万人につき何人位の割合でしょうか。

事務局 24年～28年のまとまった数字ですと、水戸市の自殺率は18.3、全国をみますと19.6、茨城県は18.9ということになっています。

___委員 高齢者の方の率が高いと言っていますが、最近の傾向として、子どもさんというか、学齢期で20歳前の自殺率が減っていないという話なんですけど、水戸市の場合はどうなんでしょう。

事務局 24～28年の合計になりますが、中学生以下、高校大学、専修学校そういった学生さんを含めまして、水戸市においては8名という数字がでています。

___委員 2ページの地域におけるネットワークの強化、市民の啓発・周知等、何か似

てると思ったら、認知症対策。声掛け・見守り、安否確認。すごく認知症に似てますよね。対象者が高齢者。そういったところも計画を立てるにあたって1つの土壌で考えるのもよろしいのではないかと思いました。

あと職場ではいわゆるストレスチェックというチェックをして就労でのストレス具合、人間関係をみるのに2、3年前から始まっておりますので、そういったところも1つの資料として、使いながら啓発に対して活用してみてください。

議長 では、つづきまして2番目、水戸市歯科保健計画について事務局のほうから説明をお願いします。

事務局 (水戸市歯科保健計画について説明)

議長 では歯科保健計画に対しての御質問・御意見がありましたら、挙手にてお願いします。

___委員 学校で歯科健診を受けて治療するように言われた子どもが治療を終了しましたという結果が戻っていないのが多いという話を聞いたのですが、水戸市ではどうでしょうか。必ず治療に行ってほしいという依頼だけなのかどうか。

事務局 学校保健給食課が学校保健を担当しております。まず経過報告してくださいという通知を出して、その後の提出がなかった人に対して催促しているかどうかは申し訳ないですが、把握しておりません。

___委員 以前よりも治療に通ってない率が多いという情報があったので。

___委員 どの位の割合が治療終了というデータはないのですが、ただ、以前の治療勧告の出し方とは様式が大きく違ってきています。以前は大きく虫歯ですから治療に行ってくださいという形ででていたものが、実は虫歯かもしれませんよ、あるいは歯周病の可能性が有りますということで、とにかく歯科にかかって詳しく見てください。ですから、虫歯です、歯周病以外にも可能性という形で出されている枚数が相当あるんですね。そうすると、親御さんの中には、虫歯じゃないから経過観察として自分の家で一生懸命やればいいのかと判断される御家庭もあると思います。そういう意味では、出したペーパーに対して終了したあるいは歯科で検査や指導を受けたという形で戻ってきていないパーセンテージが増えてくるのかなと思います。あくまで感想になりますが。

___委員 付け加えまして、今年度からなんですけど、虫歯かもしれない初期虫歯というのがC0というんですが、それでも虫歯にはまだなっていないけれどもこの初期虫歯は歯医者さんにみてもらってくださいというのが、今年度から詳しく分類されるようになりました。なので、虫歯でなくても行ってくださいという勧告をいろいろ分類して作るようになりましたので、もってくる人もそうなると思います。

あともう1つ、私は母子歯科保健推進事業に関わっているのですが、お母様方の関心のほとんどは小さい子に関しては虫歯にしないという事がほとんどです。イコールフッ素塗布等をする事にしか関心がないのですが、実は2番目の健康維持のための歯の維持及び向上は今はお年寄りのためのと捉えられることが多

いのですが、実は小さい子で食べられない子が非常に増えております。しっかりと飲めない・かめない・丸呑み、あるいはくちやくちやくといつまでも食べ物が停滞しているという、そういう子が、昔に比べて資料ありませんが、深刻なお口の状態を持っているお子さんが多くいます。色々な原因が考えられています。ぜひ小さいころから、それもお口の発達には実は非常に短い1歳半ぐらいでタイムリミットがあるので、小さい頃こそ大切ということで認識をしていただけたら良いと思います。よろしくお願いします。

___委員 それとは別の問題なのですが、定期的に歯科医院に通うことで、実は何でかかっているかに関係なく良くなっていく。行きつけの歯科に行くということを意識することで、内容とは無関係に良くなるという報告があります。それだけ意識づけをすることで自己管理ができる、それによって普段の健康につながる。歯科保健の中でも定期健診の重要性についてあげていただきたいと感じています。

___委員 小中学校のあたりは歯の健診があるからいいですが、高齢者になると歯の健診がないんですね。本人が痛いから行く、あるいは行かない。私の考えとしては、特定健診みたいのがあるなら歯にもあってもいいのでは。そうすると歯も健診に行くと悪いところがあれば治すと。そうすれば、歯も長持ちするのではないかと私は思います。やはり歯は長生きしている人ほど丈夫。歯の悪い人ほど寿命は短い。できるだけ歯が残るように努力してもらえれば、健康は維持できるのかなと思います。

___委員 保健推進員のほうでいきいき健康体操というのをやっております、そこで老年寄りが口腔体操など唾液がたくさん出るような体操をして、歯のためにも高齢者にとってもいいと思います。

___委員 今回お配りした水戸市歯科保健計画の冊子の14ページで、中学生での割合というのが目標50%を達成しているというのは伺って、それ以外の世代があるといいのですが。例えば20ページの6424の割合とか。今健診がある小中学生は数を出せるとは思いますが、そういう上の世代は同様に改善しているかどうか等、今後第二期計画の目標値をどのへんに定めることになるかにも関係してくると思いますが。何かおわかりのことがあれば教えて下さい。

事務局 中学生の虫歯にかかる割合以外の、他の年代の目標の達成状況ですが、今のお話に出ました、高齢期、64歳で24本以上自分の歯を持っている人の割合は目標が70%で掲げております。現状値が平成22年におきまして、41.7%なのですが、平成27年度健康増進アンケートの結果では、46.6%という結果がでております。ただこれは自己申告によるものなので、なかなか自分の歯が何本あるかというふうに聞かれてわかるかというのも、難しい点があるかと思っておりますので、今現在あらたに健診等にいられている方に対してアンケートをとっている状況もありますので、そちらのアンケート結果も含めまして、今後お示しができるかと思っております。

___委員 実はお口の中はけっこう、こころの状態を表すことが多くて、例えばよく服装

の乱れは生活の乱れというようなことを言いますけれども、小さい子であれば非常にネグレクトのお子さんのお口はひどかったりだとか、中学生小学生でも、お口の中が汚いと、生活自体あるいはなにかあるのかなという状態を推察することができますし、あと逆に少し年齢がたって働いてらっしゃるような年代の方でも、今度は全然悪くないようなことが、自分の中では不快事項としてお口の状況を訴えてくる患者さんもいらっしゃいますし、そういうことで、お口の中を見たり、お話を伺うことで、その人の精神状態にも気が付くことが多い場所です。お口の健康イコール体の健康、それプラスこころの健康っていうのもお口の中からわかるということを知っていただけたらなと思います。

____委員 中学生の受診率は低いということで、もしアンケートを取られる場合には、中学生のお子さんを持ってらっしゃる親御さんから聞かれた時に、クラブ活動が忙しいだとか、あとは親の貧困化というのが言われていますので、お金がなくていけないということもあると思うんですね。そういうあたりの、具体的ななぜ行けないのか、ただ忘れてただけなのかとか、そういうのも調べてみるといいかなと思います。

____委員 中1における虫歯の経験数というのは、非常に低下しております、目標値をすでに下回って言えば健康という状態なんです。問題はそれ以降、中3から高校、青年期というんですか、その頃にかけて親の目が行き届かない、親の言うことを聞かないという状況、あるいは本人達が受験勉強等で忙しい、1人暮らしが始まるという中で、実は虫歯は非常に増えていくんですね。それを解決する方法というのがあります。これはフッ化物の賢い利用。ただこのフッ化物、フッ素といわれるものには賛否両論ありまして、日本では一時期水道水のフッ化物添加というものも検討されたのですが、非常に反対が多く、また学校において一斉にうがいをして虫歯を抑制しようという動きもなされたんですが、これもいろいろな意見がございまして、集団的に応用するということははっきりいって不可能な状態です。ただ、昨年度から歯磨き粉の中に添加されている、これに関しては、個人に選択できるものですから、そういうものを使っていただくことで、はっきりいって抑制はできるんですよ。これは丁寧に歯ブラシをする、歯ブラシの時間をとるとか雑に磨くとか、それには関係ないです。その歯磨き粉さえちゃんと使ってくれば確実に減っていきます。ただそれが本当に効果、実効性があるものが日本で発売されたのは昨年度からなんです。これは、我々としては1,500ppm位を含有しているものが欲しいと思っているのですが、ようやく1,450ppmというものが発売されました。これ1,000ppm以下だとあまり意味がない。ただの気休めですよ。これが1,000ppmを超えてくると、明らかに実効性がある。今2つのメーカーから2種類程でましたけれど、公衆衛生的な立場からはこうした公的な場所でそうしたメーカー名を出すわけにはまいりませんので、そういう知識としてお知らせするというので、そんなこともある程度新たな発生の抑制が可能になるんじゃないかなと思っています。今の小中学生はネット等にアクセスするのも非常に優

れていると。そうした中で、こうした知識を入れていただきたいなと思っております。市の施策として、それをうたいあげるのはまだまだハードルが高いのかなという気はいたします。

___委員　でもフッ化物はいいんですよね。

___委員　いいです。これははっきりしています。要項でも、うたわれているんです。ただそれが、フッ化物配合って書いてあるだけの歯磨き粉なのか、この濃度が意味がありますよというものなのかという。

議　長　その他はありますか。なければどうもありがとうございました。議題の2つが終わりました。3番のその他はございますか。（なし）

ないようですので、議題はこれで終了します。以上をもって議事を終了します。本日は皆さん御協力ありがとうございました。

事務局　御審議どうもありがとうございました。たくさんの意見を頂戴いたしましたので、本日頂いた御意見を参考に、これからの素案づくりを進めてまいりたいと思います。